

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	舞台実習Ⅳ	
科目基礎情報					
開設学科	声優・演劇科	コース名	俳優コース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	70時間
単位数	2単位			授業形態	実習
教科書/教材	授業内容に添った台本・テキストを配布。				
担当教員情報					
担当教員	伊藤大・磯村純・千田恵子・須藤黄英		実務経験の有無・職種	有・演出家	
学習目的					
この科目を受講する学生は、多様性が求められる声優・俳優という仕事に必要な具体的な技術と理論を身に着けることが出来る。基礎的な発声、身体感覚を身に着け、戯曲を読解し演じるための方法を実技を通して考察、実践できるようになる。一つの作品の中で自分の役を的確に構築、創造し、声優・俳優に必要な素養を身に着けることを目的とする。					
到達目標					
この科目では、戯曲を分析し理解すること、基礎的な発声を身に着けること、声優・俳優として必要な身体性を獲得すること、他者と関わり一つの目標に到達できるようにコミュニケーションを取ること、演劇作品を創造する上で必要な具体的な演技方法とその実践を行うことで、声優・俳優として社会に出た時に必要な考え方、技術を習得することを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	この授業で、演技メソッドを用いての基本的な発声方法、演技をするための基礎的な体の使い方、役作りに対するアプローチなど声優・俳優になる為の具体的な技術を身に付けていく為の授業を行う。戯曲読解から役を立ち上げていく過程、実践的な発表と講評などを通じて声優・俳優という仕事を理解することを通じて、業界に出て職能として通用する自立した俳優・声優となることを目指				
注意点	この授業では声優・俳優に必要な心構えとして集合時間、開始時間など時間を守ることを徹底する。チームを組んで創作、発表をする機会も増える為学生間のコミュニケーションを重視する。自立した声優・俳優を目指すために授業に出席するだけではなく、積極的な参加、発表を求める。課題として出た戯曲やテキストは授業の前に目を通しておく。ただし、授業時数の4分の3以上出席しないものは定期試験を受験することが出来ない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	成果発表	50%	中間発表などの舞台成果、授業内で行われる実技発表の内容について評価する		
	課題	30%	授業内で行われる課題発表の成果について評価する。		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度などで評価する。		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	声優・俳優の仕事について		声優・俳優の仕事を理解する。基本的な発声、身体訓練（訓練は以後、継続的に行う）		
2回	戯曲を読む①		戯曲に書かれている世界観、文脈を理解する		
3回	戯曲を読む②		戯曲に書かれている役に関しての理解する		
4回	戯曲を読む③		戯曲を作品として上演する為に必要な要素を理解し、実践してみる		
5回	モノログとダイヤログ		一人で話す台詞と他者と話す台詞の違いについて理解する		
6回	目的と障害を読み解く		戯曲に書かれている内容から具体的な演技につなげるアプローチ力を養う		
7回	シーンを立ち上げる①		戯曲の一部分を具体的に演じ、演技をする為の方法を理解する		
8回	シーンを立ち上げる②		戯曲の一部分を具体的に演じ、演技をする為の方法を理解する		
9回	作品を立ち上げる①		戯曲全体を理解し、役を構築する力を養う		
10回	作品を立ち上げる②		戯曲全体を理解し、役を構築する力を養う		
11回	作品を立ち上げる③		戯曲全体を理解し、役を構築する力を養う		
12回	上演を目指す①		戯曲を一つの作品としての発表するために必要な要素を総合的に養う		
13回	上演を目指す②		戯曲を一つの作品としての発表するために必要な要素を総合的に養う		
14回	上演を目指す③		戯曲を一つの作品としての発表するために必要な要素を総合的に養う		
15回	発表・まとめ		作品発表。全体のまとめ		